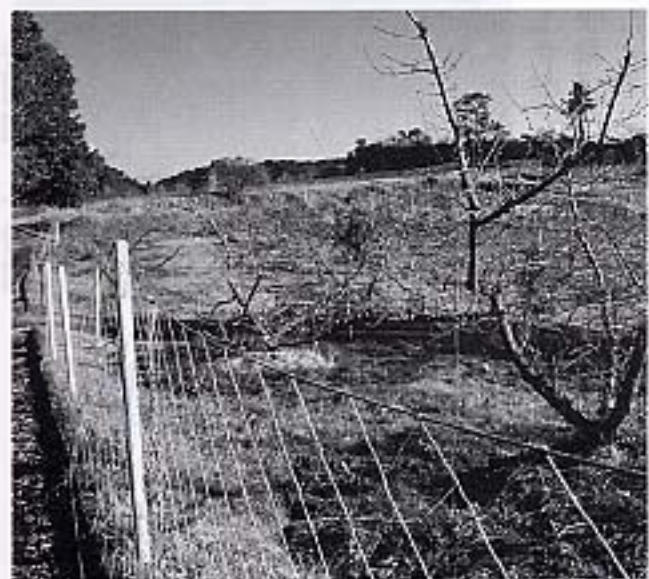


農業振興

川口憲男議員

町単独補助の取り組みは 新たな助成措置を検討



シカの被害を受けないよう防護柵を施してある梅園(上場)

一、平成14年度水稲品質向上技術実証圃の取り組みと、町単独による電気柵補助の検討状況等、その結果と今後の取り組みについて、経済建設常任委員会の総



意として伺いたい。
二、町単独事業の村づくり整備事業(D型)補助金交付規則の別表で定めてある圃場整備について、交付要件を見直す考えはないか。以上2点について伺いたい。

町長

結果として全ての実証圃の米が1等米で、収量は10a当たり約470kgから570kgの範囲であり、1年目の実

証成績としては良好であった。
また、この実証圃は3カ年の予定を組んでいます。
駆除対策は、①イノシシ、シカなどの駆除に対する助成金の引き上げ ②町での捕獲器の購入と被害地区への貸し出し ③町単独の電気柵設置は重点作物の範囲とし、共同施工の枠をはずした助成措置とする内容で現在検討中です。
D型事業はむらぶくり活性化計画の課題解決を図るということで規定された。補助金の性格から、2人以上の共同施工を崩すことは考えていない。

町民皆さんの要望を国・県・町政に反映させる方法の一つに請願や陳情があります。
これは憲法や地方自治法に規定された住民の権利で、町議会議員の紹介のあるものを請願といい、紹介のないものを陳情といいます。
請願書や陳情書が提出されますと、議会ではこれを慎重に審査し採択・不採択を決定いたします。
採択したもので町政に関するものは町長に送付し、他の執行機関(国など)で措置することが適当と認められるものは、当該執行機関に意見書を送付する形で、町民皆さんの声が反映されます。次の要件を満たした書式で提出し

請願・陳情の仕方

① 件名・要旨及び理由を記載してください。

② 提出年月日・請願(陳情)者の住所・氏名を記載し、押印してください。

③ 請願書には、その表紙に紹介議員1人以上の署名又は記名押印を受けてください。

④ 陳情書には紹介議員は必要ありませんが、請願書としては受理できませんので注意してください。

⑤ 道路や河川などの場所に関するものについては、案内図・略図・同意書等を添付してください。

⑥ その他不明な点については議会事務局にお問合せください。

町長選挙

高嶺虎男議員



出馬の意向は 再度出馬を目指す

任期満了による4月の地方統一選挙に出馬の考えがあるか。
出馬の意向があるとき、将来の町づくりのあり方をどう考えているのか伺いたい。



質問を受け再出馬を表明する井上町長

町長

15年4月に任期を終えることとなりますが、町民皆様のさらなる信頼と支持、協力が得られるならば再度出馬を目指す決意でございます。

その前提で考えますと、まず第一に市町村合併を実現させる過程で、それぞれの町の取り組みや計画が、新しい町のスケールメントの中で、さらに大きく推進され実現していけるよう最善を尽くしたいと思っています。

農業公社の設立は 合併の動向をみて

高嶺議員
農業振興

平成13年度に町第4次総合振興計画と、JAの第11次中期振興計画で策定した農業構造改革のための農業公社の設立については、14年度設立の方向で農政協議会で協議されているが、実現に向けての取り組みを伺いたい。

町長

農業公社設立については、農協の中期3カ年計画の中で14年度準備委員会を立ち上げ、15年度設立の方向で計画されていましたが、農協管内4カ町で組織する



農業公社では新規就農者の支援等が計画されている。(現在柏原でイチゴ栽培をする新規就農者)

さつま農業管理センターのプロジェクト会及び幹事会で検討され、14年度管理センターの総会に提案し審議された結果、設立の必要性は認めるが、もう少し理解を深めるため時間を置くべきだと議論がされたところでした。

幹事会の考えとしては、予算あるいは人的派遣の問題等や市町村合併の動向と大きく絡むこともあり、15年ないし16年にかけて公社設立の方向が検討されています。